



通訳 青木桃太郎

1. カンボジアでの今後の活動について

..... 青木勉(SUMH 理事長)

2 総会講演会

The challenges faced by frontline workers of

SUMH Cambodia amid the COVID-19 pandemic

新型コロナウイルス流行下における SUMH の活動

・・VANNAK KRUCH(SUMH CAMBODIA 理事)

3. 2 総会報告.....野崎章子(SUMH 理事)

編集後記

青木利江子(SUMH 理事)

発行:途上国の精神保健を支えるネットワーク

Supporters for Mental Health; SUMH

\*\*\*\*\*

1. カンボジア現地での今後の活動について  
青木勉(SUMH 理事長)

会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。我が国では、COVID-19によるパンデミックはある程度落ち着きつつあるものの、多くの方が、第6波の到来に備えて緊張した日々を送っておられるのではないかと思います。

カンボジア国内も新規感染者は減少し、2021年11月中旬にロックダウンも解除され、市民生活が回復してきております。SUMHも、シエムリアップ州病院のデイケアでの精神科リハビリテーション活動やアウトリーチの活動を開始する方向で準備をしています。

カンボジアでの地域精神保健の向上を目的として、今年度を目処に、地域精神保健サービスガイドラインを作成し、シエムリアップ州病院に地域精神保健福祉センターを開設することを計画しておりましたが、コロナ禍で延期となっております。SUMHカンボジア代表のバナックさんも加わって、毎月理事会を定期的に開催して対応を話し合っていますが、現地の精神保健医療関係者が、地域精神保健センター開設を希望しているかどうか再確認して、来年度以降の計画を立てていく予定です。

オミクロン株の蔓延等により、パンデミックの終結が見通せず困難な状況が続きますが、会員の皆様におかれましては、引き続き当会へのご支援、ご協

力をよろしくお願いたします。

2. The challenges faced by frontline workers of SUMH Cambodia amid the COVID-19 pandemic  
VANNAK KRUCH(SUMH CAMBODIA 代表)  
通訳 青木桃太郎

バナック カンボジア地域精神保健報告会

参加者 12名 窪田彰、青木勉、伊賀聡子、青木桃太郎、海内由起子、森内加奈恵、野崎章子、亀川鉱斗、久保田宗樹、大参正行、岡一郎、青木利江子

現地活動報告会

・カンボジアの説明

・SUMHの活動の説明

心理社会活動をしています。

メンタルヘルスケアの仕事をして10年ほど働いていて2回目の職場になる。

COVID-19におけるSUMHの活動

本日のお話

1. カンボジアの紹介

2. メンタルヘルス

3. コロナの影響

4. ワクチン

5. コロナにおける活動

## 1. カンボジアの概況

ベトナムの東側に位置する。5年のクメールルージュの闘争により100万人の人が亡くなり、影響がひどかった。1978年にはベトナムの侵攻が地方に及び、13歳くらいの子供も戦いに駆り出された。90年代半ばには落ち着いた。その後政府が誕生し1998年に選挙が行われ、ようやく平常を取り戻した。300万人、教職等についている人が亡くなった。虐殺の歴史によってPTSD、統合失調症、うつ病で苦しんでいる。2014年からSUMHの活動に関わっている。SUMH、TPOはカンボジアにメンタルヘルスケアを働きかけてきた。コミュニティメンタルヘルスは大切であると認識している。

これまでメンタルヘルスについてのサポートは限定的、薬の在庫も限られていて副作用の多い薬が使われてきた。地域では精神科医が不足している。改善はされてきてはいる。貧困は大切な問題。精神科病床が必要になっている。

## 2. コロナの影響

2019年中国で、2020年国際的問題として宣言を出した。経済・輸出・観光業が多くの影響を受け30億ドルの損失が起きた。経済におけるインパクトは観光業の影響、観光セクターは閉鎖、観光客はなく17000人の雇用が失われた、繊維、服飾も影響、外資資本の投資も削られた。貧困層への打撃、違法な活動、薬物等。女性が雇用の影響を多く受けた。沢山の人が非正規雇用や違法な経済活動に寄ることになり、9000万ドルが失われた。社会的に大きな影響を受けた。教育、立場の弱い人々、税金の支払いが影響を受けた。

こうした経済的な影響への政府の対応、工場閉鎖で人々は仕事を失った。40ドルの失業手当、さらに30ドル、各月70ドルが支払われた。これは230万世帯に支払われた。また500万ドルのローンを農業セクター、5000万ドルを中小企業に融資、5億ドルを中小企業を支援した。政府はコロナに対して委員会を立ち上げ、コロナ対応を取り仕切っていた。コロナ下における対応は予防、衛生問題、社会的経済格差が一番の問題となった。国際的な機関との提携、NGO、国際連盟、WHO、ソーシャルメディア、社会的弱者に対応し、学校を中心にワクチン接種を行ってきた。教育機関3月16日13,300の学校、カジノ、映画館、ジムも閉鎖、カンボジアの新年も延期、リスクのある国からの入国者数を止めることで感染を予防した。

コロナ下の影響、学生は学校で勉強できなくオンライン教育、インターネットのない田舎では挑戦的な活動だった。NGO、ユネスコと連携しeラーニングシステムを届けた。

## 3. コロナの家族への影響

失業、離婚、DV、資産・自宅を手放す、差別。主婦のうつ病、子供のメンタルヘルスの発達への影響。個人におけるメンタルヘルス、行動様式、不安症、差別、コロナ陽性になる場合は強くなった。不眠、職を失う、仕事に出勤できない、食事・栄養がきちんと取れない、友人とのコミュニケーションが取れない、長期的な負債、目標も達成ができない、身体的影響などの影響があった。

## 4. ワクチン

テーブルはコロナワクチンの接種状況。アストラゼネカ(日本、イギリス)、ヤンセンファーマ。緑の部分97%、18歳以上、12~18歳86%、全体は71%の接種率。

## 5. SUMH カンボジアのコロナ下の活動

SUMHはカンボジアのメンタルヘルス教育をおこなってきた。この活動は20年継続して大きな功績を残した。地域保健部門、ヘルスセンターの部署と連携を深めてきた。コロナ下ではリハビリテーション、メンタルヘルスプログラムが限定的になった。世界的に広がってきたことにより直接的プログラムは継続できなくなった。その他の多くのNGOも活動が止まり、いくつかはやめることになった。SUMHカンボジアの前線で働いている人の課題。フォローアップをしている患者、服薬を辞めることによる病気の再発、周囲の人からの差別、必要な支援を受けられない、食事のままならない。新規患者、より多くの人の精神的問題が増えた、どこに行けばいいかわからない、医者にかかれぬ人が多かった。今回はブレゼンができる機会をいただけてよかった。

## 質疑応答

Q1:日本の倍くらい接種率が高いが、SUMHの活動はいつくらいから始められるか。

A:カンボジア政府に全てがかかっている。労働人口はほぼ100%接種、接種していない人は家から出られない状況。政府がその許可をいつ出すかにかかっている。シュムリアップの行動制限のある地域(赤いエリア)、ない地域(黄色のエリア)(昨日の

データの状況の説明)正確な数のデータはわからない。

Q2:東京は300~450人、カンボジアの人口比だとすると50~100人くらいになるか。カンボジアは接種が進んでいるが比率的にはどうか。

A:現在(2021.9)感染者はシェムリアップ100人、カンボジア全体1000人。ワクチン接種後も感染者はでている。

Q3:精神障害者の方の差別が増えたか。

A:コロナが多い地域から帰省、旅行できた人、接点のある人への差別が増えた。近寄らないように使用する。救いの手を差し伸べると言うより避ける。

Q精神疾患患者とその他の人との差別はあったか  
A精神障害者はコミュニケーションをとるのが難しい、コロナの訴えをするのも難しい、コロナ、精神疾患をどう取り扱うかが難しく、医療機関への対応を難しくした。

Q4:コロナになってうつ、PTSD、うつ病になった人が多くなった。そうした人々に対して政府がどうするか。

A:もともとカンボジアはメンタルヘルスの対策が遅れている。メンタルヘルスの教育について人員を割く必要がある。

バナックからの挨拶、この機会をいただけて幸いです。経験を共有できる日を楽しみにしています。

議事

1. 事業報告

現地と定期的連絡会、理事会に現地スタッフリモート参加、COVID-19のため現在は現地活動停止中。精神科テイクケア活動 シェムリアップ州の精神障害者 1,763名 227日/年

家庭訪問 シェムリアップ州の精神障害者 33名 24回/年

関係機関との各種会議(シェムリアップ精神保健関係者会議、州病院精神科 外来会議等) 24回/年

2. 2020年事業会計収支報計算書 寄付金収入が減少、会費収入をより働きかけていく。総会連絡後、会費納入が何人かあった。

3. 2020年会計貸借対照表

4. 2020年会計財産目録

5. 2021年活動計画

地域精神保健センターは COVID-19 終了後設立予定。認定 NPO を目指す。

SUMH 活動報告冊子。

6. 事業予算書 地域精神保健ガイドライン、支出、シェムリアップ州に引き継ぐ方向性で進める。承認

7. 2020年役員理事紹介

理事長挨拶 14:30~バナック報告会

\*\*\*\*\*

3.2021年 総会報告

野崎章子(SUMH 理事)

2021年度 総会議事録

日時 2021年9月26日

13:50~

総会参加人数

参加者 青木勉理事長、窪田彰理事、野崎章子理事、松尾智美、岡一郎、青木利江子理事

委任状 10名

合計16名

正会員 39名 総会成立

議長 窪田彰

書記 青木利江子

\*\*\*\*\*

SUMHの会員として、また募金によって一緒に途上国の精神保健を支えてください。

【年会費】一般 10,000円 賛助・学生 5,000円

【会費・募金の振込先】

銀行振り込みの場合

銀行名；楽天銀行

支店名；第二営業支店

支店番号；252

口座番号；普通預金 7385345

口座名義；特定非営利活動法人 途上国の精神保健を支えるネットワーク

(トクテイヒエイリハウジントジョウコクノセイシンホケンをササエルネットワーク)

郵便振替の場合

加入者名；途上国の精神保健を支えるネットワーク

口座番号；00170-2-535294

郵便振替は振替用紙に、住所・氏名・Tel & Fax・E-mail・会費と募金のいずれか・SUMH へ一言を明記の上、お振り込み下さい。

\*\*\*\*\*

SUMH日本事務局

〒130-0013 東京都墨田区錦糸3-5-1 錦糸北口ビル B1

TEL 03-3812-0736

HP; <http://sumh.org>

SUMH Cambodia

Actual Address;

Mental Health Rehabilitation Center,  
in Siem Reap Provincial Hospital,  
Mundol Moi, Siem Reap, Cambodia

Postal Address:

P.O. Box 93102 G P O Siem Reap Angkor, Cambodia

\*\*\*\*\*

\*\*\*\*\*

**編集後記**

今回は総会に合わせて現地代表 VANNAK さんによる新型コロナ流行下のカンボジアの人々や社会、メンタルヘルス活動の現状と課題、SUMH の活動についての講演会を行いました。臨床、大学、学生の方の参加もあり、共にカンボジアの現在の状況を知るとともに、その中での精神障害者への偏見、ワクチン接種の進む中今後の SUMH 活動の再開や政府のなすべきことへの質問、討議がありました。改めて SUMH の方向性や課題について様々な人と考えることの大切さを感じました。現在毎月の理事会は現地スタッフと一緒にいき、互いに情報を共有し討議しています。遠方にもありながらも顔が見える、お互いの思いや考えを共有することの大切さを痛感しています。カンボジア、日本も、ともに変わりつつある社会や自然環境の中でこれからどのような社会を築いていけばいいのかということも多くの人と話し合うことの大切さを今回の総会ではより感じました。これからもこうした機会を大切にしていければと思います。まだ先の見えない状況ですが、あきらめることなく、未来にある光を信じて少しずつ歩んで行ければと思います。今後とも宜しくお願いいたします。

(青木利江子)

\*\*\*\*\*